

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	乗用車販売店（従業員）	・決算期に向けて、各店への配車がある程度進んでいることから、今後の景気はやや良くなる。利益が上向くことで、ベースアップに向けた原資も確保できると期待している。
	◎	旅行代理店（従業員）	・旅行需要が回復し、来客数が増えていることから、今後の景気は良くなる。
	○	商店街（代表者）	・インバウンドの来店が多く、活況をみせている。例年であれば、正月明けに動きが少し落ち着くが、今年は好調が続いており、例年にない動きとなっている。そのため、今後にも期待できる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年1月の景気は落ち込む傾向にあるが、今年は春節を前に中国人観光客が増加しており、観光地としては景気の良い状況にある。一般商店街の客足は隣接する都市部に流れているが、全体的な景気はやや良くなると期待している。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年であれば、冬の観光シーズンが終わると北海道を訪れる観光客の動きは落ち着くことになるが、ここ最近、航空運賃や宿泊料金が高くなり過ぎているため、春先の利用客が減るタイミングで、航空運賃や宿泊料金の値下げが行われると期待している。そのため、需要の底上げにつながり、国内線の利用客が堅調に伸びることになる。
	○	百貨店（販売促進担当）	・今年は例年よりも春の訪れが早くなる予報が出ていることから、冬の間の光熱費が少しでも抑えられることで、客の消費行動が活発になると期待している。
	○	家電量販店（店員）	・大型暖房機の動きが悪いものの、エアコン目的で来店する客が増えていることから、今年もエアコンの販売が好調に推移すると期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・北海道においてはこれからタイヤ交換の時期を迎えることもあって、客の動きが活発になる。春を迎えて需要も増してくるため、今後の景気は上向くことになる。
	○	旅行代理店（従業員）	・景気の悪い状態が続いているが、4月から大阪・関西万博が開催されること、沖縄県でレジャー施設が新規開業することなど、明るい材料があることから、多少は販売量が増加することになる。
	○	タクシー運転手	・2月に冬の一大イベントがあることから、観光客、特にインバウンドの利用が増えることで景気はやや良くなると期待している。
	○	通信会社（企画担当）	・春商戦における販売施策の内容が、ここ数年で最も充実していることから、前年以上の販売量となることを期待している。特に今年は都市部だけではなく、地方での販売量増加も期待できる。
	○	観光名所（従業員）	・冬季シーズンの需要がピークを迎えるなか、春に向かって勢いが衰える気配もないことから、今後の景気はやや良くなる。ただし、交通機関や宿泊施設などの受入体制に余裕がなくなっていることから、景気が大幅に上向くとは考えにくい。
	○	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・季節的なこともあって、今後については、輸送量が徐々に増加することになる。特にインバウンドは前年を上回る利用が見込まれる。
	○	住宅販売会社（経営者）	・賃上げの効果が出てきているのか、客がインフレに慣れたのかは分からないが、半年前と比べると客の動きが良くなっている。ただし、マンション市場を活性化させるためには、一層の所得の増加とインフレの抑制が必要である。
	□	商店街（代表者）	・物価上昇が続いていることで、販売にも影響が出ている。このままでは景気が上向くとは考えにくい。景気がますます悪くなる懸念もある。
□	商店街（代表者）	・新年度を迎えて、ビジネス目的の来街者が増加するとみられるものの、景気を上向かせるほどの効果は期待できない。区域内で解体中のビルについて、解体後の計画に向けた動きがみえてくるようになれば、今後に向けた明るい材料となり、地域住民の来訪が増えるのではないかと期待している。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・例年2月及び3月は売上が好調なため、今後についても期待している。ただし、こうした動きは季節要因によるものであり、基調は今後も変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・インバウンドが増えているものの、それ以外に景気に変化するような要因が見当たらないことから、しばらくは現状維持の状態が続くことになる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（役員）	・物価上昇が続くなか、節約するときとぜいたくに金を使うときの2極化が以前よりも進んでおり、客の節約疲れがうかがえる。ただし、全体的な景気は今後も変わらないまま推移する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・商品の一層の値上げが見込まれること、米の高値が続いていることから、客の生活防衛意識がますます強まることになる。ただし、今後も客に値頃感を訴えることで、客足は維持できると期待している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・1月の来客数が伸び悩んでいる。客単価は上昇しているが、来客数が増えてこないことから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・物価高が続いていることから、客の節約志向が続いている。こうした状況は今後も変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・初売りの動きは良かったが、月末に向かって数字が落ち込んだ。需要の変化のスピードが早く、価格とのバランスを取ることが難しい状況にある。今後も予断を許さない状況が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・景気が良くなるような要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・人気のある車種の受注が再開されたことで、新車の受注が好調に推移している。今後についても、新型車や受注再開車種が増えてくることから、好調な状況が継続することになる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車の販売量が増えてこないものの、車検などのサービス収益が増加している。今後も同様の状況が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（店長）	・物価が上昇している一方で、客の所得が変わっていないことから、景気が良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	・販売量が増加傾向にあるものの、今後の商品の値上げが見込まれることから、客の節約志向が強まることになる。特に米の値上げは影響が大きい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・風邪薬やせき止め薬の需要が冬場に集中したことから、春を迎えて反動が出ることを懸念している。コロナ禍前に行っていた健康に関するセミナーを復活させることで、今後の売上に近づけていきたい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔造花〕（店長）	・当店ではインバウンド需要がなく、景気が上向くような要素も見当たらない。そのため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・円安が続く間は、外国人観光客が好調に推移するとみられるため、外国人観光客の利用が多い飲食店は好調に推移する。一方、当店は、地元客の利用が中心であり、年配の常連客の利用がじわじわと減少しているため、現状維持が精一杯である。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・予約状況などから、現状と同様の水準で推移するとみられる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・物価高の影響が出ている。記念旅行などは以前と変わらずに行われているが、近場の温泉などに1泊するような気軽な旅行が減少している。こうした傾向は今後も続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・冬期間のタクシーの売上が前年よりも増えている。乗務員が増加している効果もあって、今後しばらくは前年を上回る売上が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・乗務員が不足しており、以前のような稼働量を確保できない状況にある。そのため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・同業他社も同じような状況にあることから、今後の景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・物価高が続いていること、今後の住宅ローン金利の引上げが見込まれることから、住宅建築を取り巻く環境がますます厳しくなることが懸念される。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・中小企業の賃金上昇につながるような政策や消費税廃止などの減税が望まれる。国民の懐を増やして、消費を拡大させない限り、今後の景気は落ち込むことになる。

▲	百貨店（売場主任）	・インバウンドによる売上は2月までは伸びるとみられるものの、4月以降は鈍化すると見込まれるため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（店長）	・物価高が続いていることで、客は食べていくだけで精一杯となっている。このため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（店長）	・個人消費が上向いてこない限り、景気が良くなることはない。
▲	スーパー（企画担当）	・米、野菜を中心に商品単価の大幅な上昇が続くなか、足元の客の購買動向をみると、買上点数がじわじわと減っている。また、周辺店舗との価格競争も前年秋口から激しさを増している。このため、今後、食品に対する客の買物の仕方がますますシビアになる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・物価高が続いていることから、買上点数が伸びてこない状況にある。インバウンドの動向次第では売上が落ち込むことも考えられる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・給料が変わらない一方で、物価が上がっていることから、実質的な手取りは減少している。このため、今後も客の買い控えは続くことになる。
▲	衣料品専門店（エリア担当）	・燃料油価格激変緩和対策事業の補助金が段階的に縮小していることから、ガソリン価格が上昇しており、野菜の価格も高騰している。そのときの物価状況に客の消費動向が大きく左右されていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・インバウンドに支えられている業界は、当面堅調に推移し、景気を下支えするとみている。ただし、インバウンドの影響を受けない業界については、原材料価格や燃料価格の高騰により、経費がかさんでおり、今後も厳しい経営を強いられることになる。春闘の動向次第の面もあるが、今後の景気はやや悪くなると見込まれる。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・今後も物価の上昇が見込まれるなか、当地ではこれ以上の値上げが難しくなっている。そのため、今後の利益確保が難しくなることが見込まれる。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・今後については、観光の閑散期となるため、来客数の減少が続くとみられる。
▲	観光型ホテル（経営者）	・冬季観光シーズンに入ったこともあって、2月一杯までは集客が増加しているが、3月以降の集客が計画を下回っており、苦戦している。
▲	旅行代理店（従業員）	・各地の冬のイベントが2月で落ち着くため、冬季観光の繁忙期は2月までとなる。3月以降は閑散期となり、国内客やインバウンドの需要が落ち込むことになる。また、暖冬が続くことで、スキー客にも影響が出てくる懸念される。
▲	旅行代理店（従業員）	・食料品や消費財、サービス料など、あらゆる価格が高騰し、なお価格が上がっていることから、旅行への支出が真っ先に削られる状況となっている。このため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・物価が高騰していることから、人の動きが悪くなっている。
▲	美容室（経営者）	・様々な物が値上げされていることで、客は生活するだけで精一杯になっている。そのため、今後は客の来店周期が伸びることになる。特に年金生活者を取り巻く環境は厳しく、影響が顕著に表れるとみられる。
▲	美容室（経営者）	・今後も最低賃金の引上げが行われることになれば、当社の経営環境はますます厳しくなる。
▲	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン金利の引上げや4月以降の生コンクリート価格の引上げにより、建築コストの上昇が見込まれることから、今後の景気はやや悪くなる。景気を上向かせるためには、物価上昇を上回る賃上げが実施されること、住宅ローンの返済期間を50年程度まで伸ばすことなどが必要になる。
×	スーパー（店長）	・新年度を迎えて、商品の価格がますます上がることが懸念される。賃金が増えれば、多少は景気が回復するかもしれないが、その見通しも立っていないため、今後の景気は悪くなる。
×	スーパー（企画担当）	・来客数の減少は今後も続くとみられる。また、青果物が値上がりしていることで、客の買上点数が減少しており、販売量に悪影響が生じている。このため、今後の景気はやや悪くなる。

	×	タクシー運転手	・物価上昇を上回る賃金の引上げが担保されていないことから、消費者心理が落ち込んでいる。そのため、今後の消費はますます停滞することになる。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	建設業（経営者）	・今後については、新年度の受注が始まることから景気が良くなる。実際の工事の稼働は4月以降になるが、計画や準備などで社内のマインドが上向くことになる。ただし、国会での新年度予算案の審議状況や公共事業費の予算額によっては、マイナスの影響が出てくるとも懸念される。
	○	輸送業（支店長）	・現在の引き合い内容から、これから春商戦に向けて、輸入貨物の物量が増えると見込まれる。また、円安が続くなか、これ以上の円安進行は考えにくいことから、今後の景気はやや良くなる。新年度の料金改定に向けた協議が進んでいることもプラス材料である。
	○	通信業（営業担当）	・インバウンドの増加や半導体関連企業の進出といった動きに加えて、GX関連での投資案件の具体化も進んでいることから、今後の景況感は上向くことになる。
	○	金融業（従業員）	・金融政策の見直しなどにより、現在の円安傾向が是正されること、国による電気・ガス料金への補助が継続することなどで、物価上昇の影響が鈍化することを期待している。また、3年連続で大幅な賃上げが行われることになれば、個人消費にとって明るい材料となる。そのため、今後の景気はやや良くなる。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・公共投資も民間投資も堅調に推移していること、効率化や価格適正化に向けた動きも着実に進展していることから、今後の景気はやや良くなる。ただし、慢性的な人手不足、建設資材価格の高止まりなど、今後に向けて気掛かりな点もある。
	□	農林水産業（経営者）	・景気の悪い状態は4月までは続くと思われる。今秋の収穫が恵まれることを期待するしかない。
	□	食料品製造業（従業員）	・受注量が増えるような案件が特に見当たらない。
	□	建設業（従業員）	・建築費高騰の本格的な影響が出てくるのは半年先から1年先と見込まれるため、今後も景気は変わらない。
	□	建設業（役員）	・通常国会での予算案審議に不安は残るものの、新年度の公共工事については、今年度並みの新規受注を期待できる。民間建築工事については、複数の次年度繰越工事と新規案件の引き合いがみられる。これらのことから、当面はフル稼働状態が続くと見込まれる。
	□	広告代理店（従業員）	・賃金上昇に向けた動きが乏しく、景気が好転する要素が少ない。
	□	司法書士	・食料品やガソリンなど、生活に必要な物の値上げが続いている。国による物価対策や減税に向けた動きが出てこない限り、消費が縮小し、景気の低迷が続くことになる。
	□	司法書士	・過去の案件の掘り起こしを含めて、相続登記の受注量が堅調に推移していることから、今後も景気は変わらない。
	□	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・相変わらずの人手不足で、案件があっても受注することができない状況にあることから、今後も景気は変わらない。
	▲	金属製品製造業（従業員）	・4月以降、改正建築物省エネ法が全面施行されることから、新築住宅着工がますます減少すると見込まれる。また、少子化による人口減少により、地方の過疎化が想定以上に進んでいることもマイナスである。
	▲	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・価格改定に伴う値上げの効果もあって、売上は増加傾向にあるものの、取扱量は前年よりも減っている。また、新年度以降、建築鉄骨関連で大きな案件が少ないため、前年並みの実績を維持することが難しいとみられる。
	×	食料品製造業（従業員）	・4月に価格改定を予定していることから、販売量の減少が見込まれる。特売価格などの条件提示をすることで、前年並みの売上を確保できると見込んでいるが、1月比べると景気は悪くなる。
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・中国人観光客が回復していることから、関連するサービス業に良い効果が生じると期待している。

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新年度に向けて、人員体制を整える動きがみられることから、今後も求人数は減ることなく推移する。また、企業では若年層の早期退職に頭を悩ましており、良い人材の採用について熟慮している。	
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・地方においては、中小零細企業が圧倒的に多いこともあって、仕入額の増加や燃料価格の高騰を受けて価格転嫁を進めている。一方、価格転嫁は客足の落ち込みや売上減少に直結することから、今後の人材募集について、慎重な姿勢が強まるが見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・引き続き人手不足を理由とした小売店の閉店がみられる。大きな変化の兆しもみられないことから、今後も景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・当地の新規求人数は前年比マイナス7.8%と5か月連続で減少しており、月間有効求人数は21か月連続で前年を下回っている。産業や業種によってその度合いは異なっているものの、今後の物価上昇の状況によっては、経済活動、消費行動が先を見通せない状態となることが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数も、新規求職申込件数も大きな増減がみられない。新規求人数は減少が続いているものの、特殊要因によるものであり、求人数の減少が景気の悪化に直結しているとはいえない状況にある。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・学生の売手市場は変わっていない。企業の人手不足の状況は今後も続くとみられることから、景気は変わらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・外国人観光客は増えているが、求人数への影響はそれほどみられない。一方、物価高の影響で消費者の買い控えが進んでいることから、今後の景気はやや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-